

【4月】 お米配布家庭数：1,887家庭 お米配布人数：3,475名

①〈当該子ども食堂（居場所）利用者の声〉

・いつもありがとうございます。

物価がどんどん上がっていて、買い物に行っても値段とにらめっこして諦めることもしばしば。もやいこ食堂さんでお野菜やお米、ドリンクなどいろいろなものを頂けて助かっています。

・いつもありがとうございます。

食材ももちろん助かっていますが、もやいこに行くとは色々な方とお話できたり、子供たちが楽しそうに遊んでいるのを見れたり、プライスレスな経験をさせてもらえていると思っています。とても居心地が良くて、地域の憩いの場になっている事が素晴らしいですね！

②今回は、地元で野菜作りをされている方から、社会福祉協議会を通じてたくさんのお野菜をいただいたので、主菜（チキン南蛮）、副菜（つみれと野菜のうま煮）、お味噌汁にも野菜をたっぷり使ったボリュームたっぷりの食事が提供できました。

高齢者（一人暮らしを含め）が多い地域なので、地域の食堂として高齢者の参加が増えています。当日はお天気良かったので庭にテーブルとイスを用意すると、とても喜んでいただき、太陽の下で家族で楽しくお食事されていました。

また、近所に住む92歳のひとり暮らしの高齢者が、腰を悪くして参加できないとご連絡をいただいたので、お弁当容器に詰めてお届けしたところ、大変喜んでいただけました。

③米の価格が高騰しているので、大変困っているというお声は本当に多いです。

登録者全員に配布は難しいので、公平になるように交代で配布させていただいております。ご支援ありがとうございます。

④最近の子ども食堂は家族で参加する傾向があります。今回1キロに分けたお米を帰りにお渡ししました。

お米が高騰しているのを子どもが知っているのか、お米が入っているのを見ると大きな声で「お母さんお米だよ」と言っていたことが衝撃でした。

⑤ひとり親家庭が主な利用者です。

その中の1世帯ですが、4人の子どもさんを育てることだけでも大変ですが、子どもさんが発達障害のお子さんで、また、お母さんは車に追突され、それが落ち着いたと思ったらお母さんの目が傷つき病院通い。車に乗れず仕事も歩いて行き、かつ病院にも通わないといけないなど次々に大変なことが起こり、どうしてこうなるのかと心配です。

食材や生活品の応援しか出来ず歯がゆいのですが、出来る限り援助してあげたいと思っています。物価高騰など、特にお米は異常な値上がりで皆さん大変です。いつもお米を届けて頂き感謝です。ありがとうございます。今後も宜しくお願い致します。

⑥一人親家庭向けお米の支援を利用させて頂きました。

私自身の運営方針が、子どもを真ん中に置いた地域のつながりを重視していましたが、今回のプロジェクトで改めて参加者の家庭事情を鑑みたところ、一人親の家庭数が多い事に気づきました。どこの親も自立して金銭的に困窮していないので、お米を渡す時に他の参加者に気づかれないように気をつけました。

いつも夕食開催ですが、その時間お仕事をしている親の家庭には子どもに渡しました。

お米の価格高騰で買い控えをしている様で「とても助かる」「気にせず食べられる」と子どもが言っている姿をみて、とても切なくなりました。

困窮までではなくても、家庭事情が苦しくなっている事がわかりました。また、同時に「いらない」と断られた方もいました。もっと困っている方に渡して欲しいそうです。相手方にもプライドがあります。一人親なら困っていると決めつけるのはどうなのかと考えさせられました。

ゴールデンウィーク2日間子ども食堂を開催します。1日目は市の無料バスを利用して遠足。2日目は買い出しから火起こしを全部自分達でやるバーベキューを開催する予定です。

子ども達がほぼ参加すると言っているので旅行する余裕がないのかとも思っています。

⑦4月20日、第10回目の子ども食堂はポークカレーを作り提供しました。

気候の変化がはげしいためか、体調を崩して前日や当日の変更キャンセルなどが多くありましたが、回数を重ねる毎に参加人数が増えて、ボランティアも新しく加入する人が最近何名かありました。

これから暑くなり食材の管理や食中毒に注意しながら、毎月喜んでもらえるメニュー作りになる様に考えて開催したいと思います。ご支援とても助かります。ありがとうございます。

⑧今回、フードパントリーの形でお米を配布しました。

政府備蓄米がなかなか行き渡らないためか、米の価格が下がりません。お米が1番喜ばれます。そして、その日の夕食からすぐに食卓に上がります。

何より、どのご家庭でも必要不可欠な食材であるだけに、本当にうれしそうな表情で受取ります。

⑨毎月のご支援ありがとうございます。今月はひとり親家庭にお米2kg、子育て中の家庭に1kgを渡すことができました。

お惣菜の支援では、具材をかさ増ししてお弁当のお惣菜にアレンジしたりと、とても助かりました。

生理用品はひとり親家庭のママさん方にお渡しいたしました。

毎月の継続してのご支援、本当に感謝いたします。

特にお米はいまだに高騰しているにもかかわらず品薄状態です。ひとり親家庭のみならず、子育て中のご家庭の親御さんもとても喜んでくれます。

⑩いつもありがとうございます。活動していく中で、ご近所で大変な方がいますと行政からは伝わらない情報をいただく事で、食堂へ来られない世帯へ物資などをお届けできる事がありました。繋がりがあってのこども食堂だと感じます。親御さん同士がコミュニケーションもとれる場所としてありがたい事だと喜んでもらっています。

⑪月1回のフードパントリー、月1回弁当配布兼会食を行っています。

フードパントリーには50～60人の子ども達、弁当配布兼会食では25～30人の大人と50～55人の子ども達が参加しております。

しかし、最近では80食の弁当では間に合わずに3～5食を追加したり、弁当が渡らなかった子どもにはお土産を渡したりして対処している状況です。

生活困難家庭や1人親家庭、多子家庭には個別にパンや野菜、果物等を家庭訪問して手渡しており、繋がりが広がっている事を実感しております。

⑫子ども44名大人26名、22家族の参加がありました。

ハヤシライス、唐揚げ、水菜と蒸し鶏の柚子風味サラダ、おから、キウイフルーツゼリー、豆乳バナナジュースです。沢山お米を頂いているおかげで、お米の価格が高い時に5升お米を炊くことが出来ました。本当に感謝です。

先月ハヤシライスが好評でしたので、また今月もハヤシライスです。カレーはなかなか食べることが出来ない子も、ハヤシライスなら喜んで食べます。お母さんに聞くと、家では1度も作ったことがないらしく、子どもがパクパク食べる姿にびっくりしていました。

また、キウイフルーツのジャムを頂きましたのでさっそくゼリーを作ってみました。生クリームまでいただいて、美味しいデザートが出来上がりです。友だちと喜んで食べている姿も見られました。



